

岐阜市を過ごしやすく優しい街に

市政報告

2021.
10月

新型コロナウイルス対策特別委員会、
また、令和3年第3回(9月)定例会での
報告と決定された事業内容の一部を紹介
します。



REPORT

1

新型コロナウイルスワクチン接種 11月中に全対象者接種の見込み

新型コロナウイルスワクチンの接種は2021年(令和3年)4月から開始され、65歳以上の方から順次、行われてきました。現在は12歳以上、全対象者への接種を行っています。ワクチンの供給量の全国民分は確保されており、岐阜市では11月中に、全対象者の希望者すべての方のワクチンが確保できる見込みです。

岐阜市では、公共施設や病院での集団接種と地域のかかりつけ医等の医療機関(病院、診療所約220か所)での個別接種を組み合わせ、ハイブリッド方式で接種を進めています。



10月10日までに
ファイザーとモデルナを
合わせて対象者の
85%の
供給となる見込みです。

接種率(想定)
岐阜市全体 **83.9%**
(65歳以上 85.1%、64歳以下 83.0%)

「新型コロナウイルス対策特別委員会」 が設置されました。

新型コロナウイルス感染症収束の目処が立つまで、医療体制やワクチン接種体制の構築は進んでいます。しかし、経済対策については立ち遅れ感が否めない状況です。必要に応じて、政策提起するために「新型コロナウイルス対策特別委員会」が設置されました。

“市民のみなさんに
寄り添いながら、
取り組んでいます。”

REPORT

2

岐阜市内全校区の通学路について 緊急合同点検を行いました

岐阜市は各学校において、3年に1度のサイクルで通学路合同点検を行っています。この取組に追加し、2021年(令和3年)6月、千葉県八街市で起きたトラックによる小学生死傷事故を受けて、岐阜市教育委員会及び、関係者による通学路の緊急点検が行われました。結果は9月末までにまとめられ、県を通して国に報告され、対策案が検討実施される予定です。

01

今回の点検は

学校関係者、保護者、見守り活動者、地域住民等、地域の声を元に点検が進められ、八街市の事故を受けた新たな観点も加えられました。

02

点検の立ち合いには

教育委員会、警察、道路管理者、学校関係者、及び市役所の関係部局が現地に赴き、さまざまな視点から協議、検討を行いました。

03

今回の点検により

各学校で改めて、児童の安全指導に取り組みました。防護柵の設置、カラー舗装等の改修、通学路の一部変更等が話し合われています。

学校を核とした

安心・安全なまちづくりを実現する機会になりました。

今回の点検以外の箇所においても、カラー舗装や標識の設置等で、通学路の安全確保を地域のみなさんと進めていきます。

▼以下の交差点は今後改善予定です。



REPORT

3

金公園を再整備し、 芝生広場のある憩いの空間に

岐阜市の中心市街地にある金公園が2022年(令和4年)に、日常に利用できる、憩いの場、くつろぎの場としてリニューアルします。レクリエーションにも利用できる、広大な芝生広場のほか、広場を見渡す小高い空間はイベント時にステージとして活用するなど、広く楽しめる仕掛けがつけられます。人の集い、交流も生まれ、柳ヶ瀬商店街と岐阜駅北エリアをつなぐセントラルパークとなります。

2021年(令和3年)9月から整備が始まった金公園。2022年(令和4年)のリニューアルオープンを目指す。



柳ヶ瀬商店街「旧長崎屋」の活用について

建築から46年、閉店から約20年経過している「旧長崎屋」は、建物を撤去し、跡地を広場として整備する方針が示されました。柳ヶ瀬商店街の中央に位置し、四方を通路で囲まれている好立地にあります。広場をイベント活用するなど、魅力あふれる空間づくりが進められる予定です。

